

FNo.5・5・1 (丙)

平成27年3月23日

渋沢丘陵を考える会 様

秦野市長 古谷 義幸



相模メモリアルパーク第2霊園（秦野・渋沢地区）開発事業に伴う工事工程表とそれに付随する自然環境保全作業計画日程を事前公開することと、即時工事中止を求める要求書について（回答）

平成27年2月16日付で要求のありました標記の件につきまして、次のとおり回答いたします。

なお、本回答は、同年3月10日付「渋沢霊園開発事業において秦野市による主導的なノスリ繁殖期間のコンディショニング配慮及びモニタリング調査することと工事の即刻中止を求める申し入れ書」についての回答も兼ねていることを申し添えます。

1 要求①

工事工程表、及び工事工程に沿った自然環境保全作業計画日程を、速やかに明らかにすること

【回答】

昨年、事業者が工事に着手しましたが、事業者におかれても動植物への影響を最小限にするためのモニタリング調査を継続的に実施していますので、市としましても、環境への配慮が必要な行為が行われる際は、報告をさせることとしています。

今後も、事業者に対しては、継続的なモニタリング調査を実施するとともに、この事業が貴重な自然や動植物等、自然環境に及ぼす影響を最小限に抑えるため、最大限の対策を講じるよう指導していきます。

なお、工事の工程については、事業者が工事現場において掲示するなど、市民等が状況を確認できるよう指導しているところです。

2 要求②

繁殖期に入ったノスリ（付近での営巣が期待される）の保全の為、直ちに工事を中止すること

【回答】

市は、猛禽類の繁殖活動に対する配慮については、継続して指導しています。また、事業者は、平成 16 年から猛禽類の調査を毎年実施しており、工事が猛禽類の繁殖活動に影響を与えないよう、調査担当と工事担当と協力して工事を進めることとしています。

既に進入路等における伐採が行われていますが、低騒音型重機の使用や重機の使用数を徐々に増やすなど、コンディショニングも取り入れながらの作業となっています。

なお、事業者は、工事に起因する要因により対象猛禽類の繁殖に悪影響が及んでいる可能性があるとして認められた場合は、工事の一時中止等の配慮を行うこととしています。

市は、今後もモニタリング調査の結果の報告を毎回求め、調査結果に基づき工事が猛禽類の繁殖に及ぼす影響を最小限にするよう、継続して指導してまいります。

事務担当は、環境保全課環境緑政班です。

電話：（８２）９６１８

Fax：（８２）７４０１

E-Mail：k-hozen@city.hadano.kanagawa.jp